

## 平成 19 年度宮前区区民会議・企画部会（第 5 回）摘録

日 時 平成 20 年 2 月 1 日（金）18 時 00 分～19 時 50 分

場 所 宮前区役所 4 階第 1 会議室

出席者 小林委員長、浅野委員、川西委員、鈴木恵子委員、永野委員、目代委員、渡辺委員、  
事務局 田邊総務企画課長、中山企画調整担当主査、東主査、成沢職員、

### 1．開会・事務連絡（事務局）

#### 事務連絡

- ・ 会議の情報公開について
- ・ 本日の議題について

#### 連絡

- ・ 地域防災、明日のコミュニティに関する提案を受け、現在区役所内で各担当課と取組の方向性について討議中である。
- ・ 第 2 期区民会議委員の公募を開始した。
- ・ （チラシ）「地域をつなぐ」：鈴木恵子委員主催の研修会
- ・ （色刷りチラシ）「大人の文化祭」：2 月 11 日（月祝）宮前市民館で開催するシニア世代対象のイベント。講演会の講師、東工大の本川教授は、「ゾウの時間、ネズミの時間」の著者で土橋在住。

### 第 6 回市民自治創造かわさきフォーラムについて（総合企画局鈴木主幹、阿部主査）

- ・ 市立土橋小学校を会場に開催される第 6 回市民自治創造かわさきフォーラムの中で、3 月 1 日午後に「みんなで考えよう。区民会議など自治の取組を考える」というプログラムを計画中。各区民会議委員から有志を募り、企画を進めたい。
- ・ 昨年 12 月に各区に案内を送付し、一度会合を開催した。4 区からの参加（川崎 1、中原 3、高津 1、麻生 1）があったが、全区からの参加を目指したい。
- ・ 名称や内容の詳細は未定。集まった区民会議の委員さんを中心に企画・運営を進めていくが、各区からの報告やパネルディスカッションなどを考えている。
- ・ 2 月 14 日、中原区役所 5 階会議室で、この企画の準備会を開催する予定。宮前区民会議からぜひどなたかの参加をお願いしたい。

協議の結果、宮前区から小林委員長が参加することとなった。

他の委員についても、当日都合のつく委員は傍聴者としてできるだけ参加することを確認した。

### 2．議事

#### （1）第 1 期区民会議の総括について

##### ア 報告書の構成と内容

##### イ 第 2 期に向けた今後の課題

事務局より資料 1 に基づき説明があった。資料内容に付加された主な説明事項・確認事項は以下のとおり。

- ・ 今日出た意見を踏まえた物を 13 日の第 4 回全体会の会合前に各委員に送付したい。

- ・ 3月22日開催予定の区民会議フォーラムでも提示を考えている。
- ・ 著者名は取組状況等の掲載も踏まえ、区民会議と区役所の併記する案とした。
- ・ 区民会議だより2号で掲載したような、取組の一覧的なページを今後作成したいと考えている。
- ・ 今後区民会議フォーラムの結果、区役所の取組の方向性などを付加して完成する予定。

#### <意見交換>

##### 報告書の構成について

**永野委員** 報告書として載せなくてはならない内容も多く、ある程度長くなるのは仕方ない、これで良いと思います。しかし、この内容を区民と共有する方法については、別に考えたい。別のダイジェスト資料の作成などが必要だと思います。

**事務局** 区民会議だより第5号を年度末に発行する予定です。その紙面にダイジェスト版を掲載してはどうでしょうか。

**鈴木恵子委員** 報告書としては、これで良いと思います。

**川西委員** 報告書としては非常によくできている。レイアウトも見やすいです。真面目な取組をしてきた、頑張ってきたトーンが感じられます。

**小林委員長** 報告書の著者を区役所との併記にすることは、協働という面から考えても、区役所の気概、責任意識を感じます。積極的でとても良いことだと思います。

**事務局** 参与との意見交換については記載をした方が良いでしょうか？独自の試みで他区から注目されていた部分もありました。

**小林委員長** 非公式の形で行なったものなので、取り扱いが難しいです。

**川西委員** 話の内容や中身までは掲載する必要はありませんが、開催したことだけの記述を一行入れておいて良いのではないかと思います。

##### 第5章 第2期に向けての記述について

**川西委員** 第5章については、ある程度同じような意見を集約や区分けをして、まとめた形での掲載を全体会で提示できると良いとおお見ます。

第1期で地域課題を概念的なところから広く、大きく捉えてきたのは良かったと思いますが、そこから漏れた個別課題の収集も今後は必要だと思います。例えば地域内の団体が抱えている問題、それから行政窓口での愚痴や苦情、陳情も課題があって出ているものもあると思います。地区懇話会に直接区民会議が行ってヒヤリングという意見が出ていましたが、これは新しい行動する区民会議委員ということになると思います。丹念に読むと非常に面白い意見がたくさん出ています。

**小林委員長** 批判的な声もうまく汲み取っていく必要があります。大切にすべき意見として捉えたいです。

**川西委員** 現在掲載されている各委員が書いたままのデータも、これはこれで残しておきたいし、見ていただきたい。別個に残しておく必要もあると思います。

**事務局** 第5章にはまとめを掲載し、現在のデータは資料編に残しておいてはどうでしょうか。

**川西委員** 区民会議の本質的な点を問題とする意見もいくつか出ています。委員の選出や参与の関わり方などについての意見もあります。みなさん本当によく書いて下さいました。すごい資料だと思います。

**事務局** 現在20人中15人の委員の方々が書いていただいています。残りの方についても今後も提出があれば追加しますし、催促もしていきたいと思います。かなり色々な意見、次回に向けての提案なども面白いものが出ています。

**川西委員** 第5章では、同じ意見の多いものから、ボリュームをつけてまとめていただければと思います。

少数意見にも真実があることがあります、どれが合意がとれるのか、真実なのかということでまとめられればと思います。

**まとめの案を事務局で作成、第5章として掲載。元データは資料編として掲載することを決定。**

### 区民会議フォーラムについて

**川西委員** 区民会議は各区でそれぞれのやり方、課題の把握の手法がとられています。今度の市民自治創造かわさきフォーラムの中の企画でも、各区がなぜそのやり方をとったのかが見えてくると良いと思います。ただ時間があまりとられていないようなので、報告だけで終わってしまわないか心配です。

**事務局** 以前高津区で意見交換会として開いた会も言いっ放しになってしまった感がありました。宮前区としての区民会議フォーラムは自治創造フォーラムと抱き合わせにすることも検討しましたが、調整がつかず、別々に開催することになりました。

### 委員の入れ換えや今後の関わり方について

**小林委員** 次期の委員の入れ替えについてはどのように考えているのでしょうか。

**事務局** まだ検討中です。現時点では、引き続きお願いする方が最大で半数くらいと考えております。

**小林委員** 区民会議の提案が言いつばなしになってはいけないと思います。委員でなくなる方たちにも、今後も関わっていただくしくみを考えておく必要があると思います。例えば提案を説明する資料づくりや防災推進員の担い手になってもらうなど考えられます。

**事務局** OBとして、色々な形でぜひご協力をいただければ、非常にありがたいと思います。

構成団体についてもかなり変わる可能性もある。第1期の団体ありきではありません。

**浅野委員** 団体推薦の委員は最長2期という話だったように思います。公募は1期。ただし、あまり固定的に考えるのもどうかと思います。専門部会に経験者や参考人として参加できるような形があると良いと思います。

**事務局** 関係者というしくみがありますので、うまく活用して、関係が切れないようにしていきたいと思います。働きかけが大きいと思いますので、積極的にしていければと考えています。

**川西委員** 理想はそうですが、現実的には難しいこともあります。新しい委員が頑張ろうとしている時に、あまり前の人が出てくるとややこしくなる事も往々にしてあります。きちんと線を引くことも必要です。

一番良いのは、現場でリンクしあう、取組の実行レベルに関わっていただくことだと思います。

**渡辺委員** 区民会議は提案部隊、別に実行部隊に入るといことですね。

**永野委員** 第5章の整理をしたら、その内容に対してどうしていくかということが今後必要になります。古い委員で検証委員会みたいな組織をつくってはどうかという提案もしました。

**小林委員長** 提案の実行について、高齢者部会の鈴木委員や子育ての方々など、これまでもそれぞれの活動をしてきた方に関わっていただきましたが、その他の委員があまり関わらなかったという反省があります。何らかのところで実行のところに参加したいと思っています。

**事務局** 防災推進員などの提案のところで参加していただけると非常に良いと思います。提案実行の検証のあり方については、特にこれから実行が始まるコミュニティと防災については、なんらかの手法を考えなければならぬと思います。ただ、第2期がどうなるかは空けてみないとわからない部分もあります。

### その他

**渡辺委員** フレンド神木で1月25日にケア会議をようやく開催できました。これから活発していくと思いま

す。予定ではなくなりました。

**小林委員長** 今後区民会議の力がついてきたら、扱う課題も広げていって、どんどん発言していくということになると思います。市議会との関係はお互い踏み込まないように、というのではなく、お互い積極的にやっていけば良い、協調するところは協調し、競い合うところは競い合って良いと思います。

## (2) 区民会議フォーラムについて

事務局より資料2、及び参考資料に基づき説明があった。資料内容に付加された主な説明事項、及びそれを受けて確認・決定した事項は以下のとおり。

- ・ 昨年度は講演会は別扱いだったが、今年は講演会も含めてという案
- ・ 講演会の講師としてご推薦のあった細川氏の日程確保できた。本人との中身の調整はこれからになる。
- ・ 司会は川西委員、区民会議からの総括方向は永野委員。
- ・ 来場者には、報告書の素案のコピーを周知の意味でも配布する。
- ・ 報告内容のダイジェスト資料として、区民会議だよりの原稿案のコピーも配布する。
- ・ 昨年度同様来場者への簡単なアンケートも行なう。講演会前の休憩時間を記入時間に当てる。

## (3) 第4回区民会議全体会次第について

事務局より資料3に基づき説明があった。資料内容に付加された主な説明事項、及びそれを受けて確認・決定した事項は以下のとおり。

- ・ 協働推進事業の計画と課題解決にむけた取組については、予算の額が入ったものを示す予定。前日12日の市長記者会見で発表される内容。
- ・ 新実行計画はタウンミーティングを経たものをお示しする。
- ・ 総括は参与からも意見を聞く時間をとる。